

佳作 自信



ニン マー ラー
HNIN MAR LAR
国 籍 ミャンマー
職 種 電子機器組立て
実習実施者 ムサシ電子株式会社
監 理 団 体 北陸対外事業協同組合

人生において、何かに挑戦しようとする時、最も大きな原動力となるのは自信というものです。自信を持っている人は、困難に直面しても諦めずに前を向くことができます。しかし、自信というものは一朝一夕に身につくものではなく、毎日の努力や積み重ねの結果として得られるものであります。自信があれば、仕事の半分は終わったようなものだという言葉がある通り、強い信念を持って物事に組むことは、成功への最短ルートだと自分が信じています。物事を始める前に自分ならできるという自信があれば、不安や迷いがなくなります。心配する代わりに仕事に集中できるので、スピードも質も上がります。自分も仕事に対して自信を持ってない時期がありました。新しい環境や慣れない作業の中でミスして周りの人々に迷惑をかけてしまうこともありました。自信というのは、何もないところから生まれるのではなく、過去の経験から得られるものです。何度も繰り返し練習して失敗を乗り越えて身につけたスキルこそが本当の自信になりましたと思います。

私も自分自信がなくなりました時もありました。数年前、新型コロナウイルスの影響で大学は閉鎖を余儀なく

されまして、自分の先生になりたい夢がどこかへ消えてしまいました。何を目標に頑張ればいいのか分からなくなって自分自身への自信も完全に失ってしまいました。でも、私は諦めませんでした。自分の道を見つけるために、自営業をできるようにやりたい大きな目標を立てました。でも、すぐに自営業を始めることはできません。まずは他の人の店で二年間ぐらい労働者として働きながら、商品のことについて一生懸命勉強しました。この二年間頑張ったことで、少しずつ自分ならできると思えるようになりました。自信は、ただ頭で考えるだけでは生まれません。毎日コツコツ努力して、経験を積み重ねることで、すこしずつ手に入るものだと気づきました。一歩ずつ努力を積み重ねて、ついに自分の店を持つことができました。今は両親が店を切り盛りしてくれています。しかし、私はまだ若者としてもっと広い世界で様々な経験を積み、新しいことを学びたいという強い思いがありました。そのため、日本へ行くことを決意しました。日本語の勉強も一生懸命頑張れば必ず目標に到達できるという強い自信を持って、日本にやってきました。新しい環境に飛び込むには、多くの勇氣と自信が必要でした。しかし、これは自分で選んだ道です。これから先、良いことも悪いことも、どんな困難が待ち受けていようと、すべてをしっかりと受け止めて乗り越えていく覚悟ができています。

自信を持つことは、人生を成功させるための大きな鍵だと思います。しかし、一番大切なのは、もし失敗して自信を失ったとしても、そこから立ち上がってもう一度自信を築き上げることです。皆さんも失敗を恐れずに自信をもってなんでも挑戦できますように。